

中部経済新聞

2018年(平成30年)7月4日 水曜日

第4面掲載 尾張・知多版

業績好調、基本守り事故防止を

岩部建設の事業協力が総会

【半田】中堅ゼネ

コンの岩部建設(本社愛知県武豊町西門、岩部雅人社長、電話0569・72・1151)の協力会社で構成する事業



あいさつする岩部社長

協力会(略称EBI、会長 杉浦秀一杉屋工芸社長)はこのほど、武豊町の町民会館「ゆめたろうプラザ」で、2018年度の総会を開催した。同社社員と協力会の事業者ら約180人が参加した。

総会の冒頭、岩部社長は18年6月期決算について触れ、売上高が約92億円、経

常利益も前期を上回り増収増益となったことを報告。

「借入金ゼロの文字通り無借金。引き続き自己資本、純資産の上乗せなど充実を図る」と財務内容の健全さを強調した。

今期の見通しについても「すでに前期末の段階で受注案件や手持ち工事が130億円を超え、過去最高の

ペース」と報告した。「今後安全衛生管理が最も重要で、労災事故を防ぐには何より基本が大切」と語った。

総会で杉浦EBI会長は「取り巻く環境が刻々変化する中、若手入職者の確保、育成が課題。まずは魅力ある職場環境の構築が必要。現場での安全管理も重要な課題だ」と話し、熱中症対策などと呼び掛けた。

その後、無事故・無災害に貢献した名鉄環境造園など3社を安全表彰した。

特別講演会では、ジャーナリストで作家の門田隆将氏が「日本人が、毅然として“あるために”をテーマに講演した。